

Design your own road

WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画
WHILLコンタクトデスク TEL: 0120-062-416 (IP電話の方: 050-3085-9840)
受付時間: 9:00~19:00 (平日)
HP: <https://whill.jp>

WHILLの月刊誌

WHILL MAGAZINE

2018
OCT.-NOV.

10・11



WHILL

WHILLが私の生活にもたらした大きな3つの変化

脳性麻痺により幼少期から車椅子をご利用の友安様。
中学生のときより電動車椅子を使い始めて
今年で14年になります。
現在は手動車椅子とWHILLを併用して、
毎日の外出や通勤にWHILLを活用しています。

新しい乗り物としてのWHILL

テレビの特集でModel Aを見かけてからWHILLには注目していて、補装具費支給の申請をするタイミングで、WHILLを選択しました。

正直なところ、以前利用していた電動車椅子に不満があったわけではありませんでしたが、それでもWHILLに乗ることに決めたのは、新しい乗り物というコンセプトに強く共感したからです。そして、実際にWHILLは私の生活にたくさんの変化をもたらしてくれました。

周囲の視線の変化

現在は毎日のようにWHILLを利用しています。通勤はもちろん、休日に友人と食事に行ったり好きな野球を観戦するのにもWHILLで出かけます。WHILLに乗るようになってから、周囲からの視線が変わったように感じます。これまでは遠慮されているような、ときに避けられているような視線を感じることもありました。

しかし、WHILLに乗っていると「カッコいい」や「何あれ、新しい」など、ポジティブに見られるようになったと感じます。

また、ヤナセでWHILLを購入したこともあり、WHILLにYANASEステッカーを貼ってもらいました。これに興味を持ってくれる人もいて、少し得意な気分になります。



駅員さんのサポートなしで電車に乗れる

段差を乗り越えられることは私の生活を大きく変化させました。家の近くに数cmの段差があり、これまではそれ避けて通るために遠回りしていましたが、WHILLによってその必要がなくなりました。また、街中の段差だけでなく電車に乗るときも便利になりました。今までは電車に乗るために駅員さんにスロープを持ってきてもらう必要がありましたが、毎日サポートをお願いするのは申し訳ないという気持ちもありましたし、何よりスロープを持ってきてもらったり、到着駅に連絡したりする時間を待たなくてはなりませんでした。WHILLならホームと電車との段差や溝を乗り越えることができるので、自分で電車に乗れます。毎日通勤に電車を使っている私にとっては大きな変化です。*

* 駅や乗車位置によってホームと電車の間は異なります。
段差や溝が大きい場合は無理せず駅係員にサポートを依頼してください。

急な食事の誘いにも乗れるように

特に良かったと思っているのは、友人や同僚からの急な誘いでも車にWHILLを載せてもらって食事に行けるようになったことです。今までの電動車椅子だと機体が大きくて車に積むのが大変ですし、そもそも普通の乗用車には乗りません。当日の誘いに応じることは難しかったですし、周囲の方々も誘いにくかったと思います。WHILLにしたら職場の人達も簡単に分解して車に乗せられることを知ってくれているので、一緒にその人の車で連れて行ってもらうことができます。WHILLのおかげで友人や同僚との交流が増えて、楽しい時間も増えました。本当によかったと思っています。WHILLは私にとって、自分らしく暮らしていくための大事な存在です。



WHILL Model C オプション紹介

ACCESSORIES FOR MODEL C

秋の行楽、散策や写真撮影が 楽しくなるオプションを付けて お出かけしませんか？

外出が楽しみになる秋の行楽シーズン。
WHILL Model Cでは、ドリンクやカメラなどの
持ち運びに便利なアイテムをご用意しています。

オンラインストアからも
ご購入いただけます。
<https://whill.jp/option-store>



こまめに水分補給をしたい



ドリンクホルダー ¥2,484(税込)

飲み物の持ち運びに便利なドリンクホルダーです。500mlのペットボトルに対応しています。取り付けは付属のアダプターでワンタッチ。ボトルを出し入れしやすいポジションに微調整できます。

サイズ:155mm×75mm×155mm
重量:49g

地図アプリを便利に使いたい



スマートフォンホルダー ¥16,200(税込)

四本爪のフックで携帯を固定するので、走行中の振動でも落ちません。フック幅は調整可能で、様々な携帯サイズに対応できます。大きな画面のiPhone 7Plus/8Plusも取り付け可能です。タブレット端末の取り付けは出来ません。

サイズ:90mm×55mm×465mm 重量:695g

一眼レフカメラで写真を撮りたい



ブラティーク ¥27,000(税込)

カメラやスマートフォン、タブレットが取り付け可能です。ワンタッチで簡単に着脱できます。また、固定レバーとダイヤルにより、角度/向き/長さを調整できるので写真撮影に最適です。

サイズ:約620mm×700mm×75〜450mm
重量:約730g

※ドリンクホルダー、LEDライト、スマートフォンホルダー、ブラティークは左右のアクセサリポストの一つずつ装着できます。同時に三つ以上のアイテムを装着することはできません。

NEWS

WHILL 株式会社が約50億円の資金調達を実施

9月18日に約50億円の資金調達を完了したことを発表いたしました。今回新たに調達した資金は、2018年1月に米国で発売開始した北米モデルModel Ciの米国・カナダでの販売拡大、2018年7月に進出した英国・イタリアでの販路拡大とその他欧州各国への進出に利用するとともに、MaaS(*1)事業の拡大、これらに伴う組織体制の強化等に用いられます。

*1 MaaS : Mobility as a Service、自動運転やAI、オープンデータ等を掛け合わせ、従来型の交通・移動手段にシェアリングサービスも統合して次世代の交通を生み出す動きのこと。



WHILLのMaaS事業のイメージ

国際福祉機器展(H.C.R.)に出展

出展ブース内では、WHILL Model CとWHILL Model Aの両方に試乗いただけます。Model Cの分解や段差乗り越えも実際に体験いただけます。またH.C.R.主催の「車いす貸出コーナー」にて1回2時間を上限に貸し出しをしています。台数に限りがございますので予めご了承下さい。
期間: 2018年10月10日(水) ~ 10月12日(金) 10:00 ~ 17:30 (最終日12日のみ16:00まで)
場所: 東京ビッグサイト東展示ホール【ブース5-13-12】